

四條畷市教育委員会ニュース

内容：

- ・授業のユニバーサルデザイン化
- ・四條畷あおぞら幼稚園風景

「授業のユニバーサルデザイン化」

〇すべての子どもにとって、「わかる・できる」授業をめざして

授業におけるユニバーサルデザインとは

「学力の優劣や発達障がいのあるなしにかかわらず、すべての子どもが、楽しく『わかる・できる』ことをめざし、学習における工夫や、様々な子どもへの配慮、一人ひとりの特性に対応した通常の学級における授業のことを言います。」

気になる子どもへの支援の在り方
～授業のユニバーサルデザイン化をめざして～

関西国際大学
中尾 繁樹

学習におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れることは、授業内容を少なくしたり、課題の難易度を下げたりすることで、すべての子どもがわかりやすい授業をつくるのではなく、指導法を工夫し、学習環境を調整することにより、すべての子どもにとって、学びやすくする授業づくりです。これにより子どもたちが自信を持ち、自己肯定感を高めることがはかられます。

四條畷市では、今年度から 2 年間、北河内地区として「四條畷南中学校・四條畷南小学校・四條畷東小学校」の 3 校が「通常の

学級における発達障がい等支援事業」の研究指定を受け、授業のユニバーサルデザインの視点をもとに「わかる・できる」授業をすすめる実践研究に取り組んでいます。

5 月 6 月全教職員の参加のもと、第 1 回目の授業公開と研究協議が開かれ、アドバイザースタッフ（関西国際大学 中尾繁樹教授）とサポートチーム（府教委事務局・教育センター指導主事）による指導助言を受けてきました。この 8 月には、北河内地区公私立幼稚園・公立小中学校教職員対象に第 1 回実践報告会とパネルディスカッションを開催し、取組みについて発信・普及に努めていく計画です。



アドバイザースタッフ 中尾繁樹教授（関西国際大学）

授業で考えられる主な工夫点として

①教室・学習環境の整備

- ・前面黒板の周りから不必要な掲示物を取り除き、黒板に集中しやすいように工夫。
- ・マークや色チョークなどを効果的に使用し、文字の大きさ、行間に配慮。

②授業の流れの工夫

- ・1 時間の授業の流れを予告し、見通しがもちやすい工夫。
- ・「何を」、「どんな順番で」、「どう取り組んでいくのか」を具体的に伝える。
- ・毎授業、同じことから始める学習形態や、15 分単位で活動内容を変えていく工夫。



四條畷南小学校 校内授業研究会（H25.6.20）



四條畷東小学校 校内授業研究会（25.6.13）



③指示・説明・発問の工夫

- ・指示は、抽象語を少なくし、具体的にわかりやすく伝える。
「適当に」「ちょっと」「5分くらい」は抽象的で分かりにくいですね。
- ・「1つめは・・・」、「2つめは・・・」など、単文で行動する順番をつけて話をする。
- ・否定ではなく、肯定的な表現を使うよう努める。
「～してはいけない」ではなく、「～しましょう」という表現。

④複数教材の用意

- ・簡単な言葉で、気がつきやすい場所に掲示。
- ・イラストや写真、視覚教材、プロジェクターなど、視覚的アイテムを活用。

⑤認め合う学習集団づくり

- ・できたことをタイムリーに適切に評価する（ほめる）。
- ・助言するときは、具体的に肯定的な表現を用いる。
- ・注意するときは、その場で短く、具体的におこなう。
- ・いけなかったことだけを端的に指導する。
「いつもこうだ」「前もこんなことがあった」などは、効果的な指導となりません。



四條畷南中学校 校内授業研究会（25.5.28）

「聞き方」あいうえお あ あいてをみて い いいしせいで う うなずきながら え えがおで お おわりまでき	「話し方」かきくけこ か かんがえをまとめて き きくのかおをみて く 口を大きくあけて け げんきよく こ ことばづかいにきをつけて
--	---

小学校の各教室には、このような掲示で聞く・話すのルール化を図っています

市立四條畷あおぞら幼稚園では道徳性の芽生えを培う取組みをしています

四條畷あおぞら幼稚園では、道徳性が芽生える幼児期から、幼児一人ひとりの発達段階に即した体験活動による教育を行っています。あいさつや言葉づかい、生命尊重、健康、安全に関すること、身の回りの整理整頓などについて、環境と関わって、楽しく学べるような実践に取り組んでいます。また、幼児教育センター（園内に設置）の取組みとして、市内私立幼稚園と連携を図りながら、市全体で「豊かなこころを育む」幼児教育のテーマにそった道徳教育の研究を進めています。



環境コーディネーターの皆さんのご協力で、立派なゴーヤが実ったよ！ オタマジャクシからカエルに！ ルールを守って楽しく水遊び！

「プラネタリウム 楽しかったよ！」



年長のそら組とにじ組が、市のマイクロバスでドリーム21（東大阪市）のプラネタリウムへワクワクしながらいきました。案内されて椅子にもたれると後ろに倒れてびっくりしたり、部屋の中央にある機械を見てドキドキ、暗くなると天井に星が映し出されると「わあー！」と感嘆の声があがっていました。「また、行きたいなー」との声もたくさんききました。楽しかったね。

（四條畷あおぞら幼稚園だよりから）